

2012. 1. 29 シンポジウム・ライブ・但馬冬鍋の記録 2

当日は雪が降る寒い一日でしたが、参加者は230名を超え、シンポジウム、ライブとも大変盛り上がりました。発足8ヶ月、「いのちが輝く地域社会づくり」の輪を広げたいという願いで開催した第1回の取組、「いのちへの共感 支えるいのち・つながるいのち」をテーマに、すべてのいのちが輝き、人と人が強い絆で結び、人と生きものが共生する地域とする輪がまた一つ大きく広がりました。県民文化局協働推進室長、県民局県民協働室長、市長も参加してくださいました。



(中貝市長)

第1部活動発表 食農教育プロジェクト お料理の会

一緒に楽しくお料理をし、暮らしを見つめ食農を考えてみませんか



コウノトリいのちネットお料理の会は、人とコウノトリが共生する環境をつくり、地域の安全安心な農作物をもとにした健康な食生活を推奨している。

食べる事を通して、農を考え地産地消を考えていききっかけにしたい。今日の食生活は、色々な面で多様化しており、自分で作らなくても、考えなくてもお金を出せば何でも手に入る現状である。地域の安全で安心な農産物を無駄なく使い切り、本当においしい食事をし、心も体も元気でいられる食事支援が必要である。一人から家族へ家族から地域に輪が広がっていくように支援していきたい。23年度のお料理の会(ママの会、ごはんの会)の延べ参加者は120名になる。(黒田幹子管理栄養士)



第2部活動発表 ひきこもり支援プロジェクト ドーナツの会



上坂代表 **ースタッフを募るー**

本人、保護者は苦しみ、悩んでいる。中学校を卒業すると相談できる所がなく、仕事につけず、社会的ひきこもりになってしまう。輪が広がり、支え合っていこうとドーナツの会という名前に。スタッフには臨床心理士やカウンセラーの有資格者もいる。すでに10数件の相談がある。

金子相談員 **ー気軽に集まる場所をー**

相談に乗ってみると、ひきこもりの若者、親御さんは大変な思いをされていることが分かった。話すことで気づき、一歩進んで、一緒に少しでも元気になることができればと思う。気軽に集まる場所がほしい。情報交換ができる場がほしい。相談ができるスタッフの仲間を増やしたい。

第2部 意見交換会 『コウノトリと共生する環境づくり』

Mさん コウノトリと人が共生できる環境を作る

コウノトリが生きていける豊岡を作り出したい。長いスパンで取り組んで行く取り組みだと思ふ。

主人公は市民である。この取組はまだ誰もやったことのない事業で、新しい社会をつくる取組である。このシンポジウムに参加する人たちがこの環境を変えると信じている。



Nさん(専業農家) 田んぼを元の自然の状態に戻す

コウノトリ育む農法に携わる。平成14年から育む農法の勉強会をやり、実際に無農薬でコウノトリのために田んぼを作ることを実践してきた。無農薬栽培ということは、田んぼをもともとあった自然の状態に戻すということだと思う。



Tさん(専業農家) 負荷を与えない農業を目指す、人のすそ野を広げたい

今まで、田植えの後の一面の緑は自然に対していいことだと思っていたが、実は負荷を与えていたことを知った。負荷を与えない農業を目指したい。虫や魚と共生する農業を進めたいと思っている。農業はいろいろな人とかかわりの中で成り立つものだと感じる。いのちのネットとも、その一環として関わってきたい。



Sさん(但東町・農業者) 地域をどう守るのか、TPPを考える

地域をどう守っていくかが大きな命題。現在、5人の若者と一緒に農業を営んでいる。自分たちは地域の皆さんからあてにされている。そしてまた、地域の力も感じている。自分が感じていることを若い人たちに伝えたい。

今考えてほしいのは「TPP」のことについて。日本にとって参加することが本当にいいことなのか消費者のみなさんにぜひ、考えてほしい。私は自国で消費する食物は自国で賄いたいと思う。

Nさん(兵庫県職員) 全世界から注目されている野生復帰 環境整備を！

豊岡でのコウノトリの野生復帰の試みは全世界から注目されている。野生復帰を成功させるための種々の取組、様々な人々の参加が評価されている。中国でも育む農法の取り組みが始まり、韓国ではコウノトリの放鳥をする予定である。しかし、そのための環境整備はまだまだ弱いと言える。

豊岡の人々は自分たちの取組に誇りを持って下さい。



Tさん(兵庫県:総括助言)

①復興支援ボランティアについて

ボランティアに行ったこと自体を語り継ぐことが重要である。分らないままに問題意識を持ち続けることが活動のエネルギーになる。

(第3部のライブ)

② 食育、ドーナツの会について

「いのち」につながる活動である。そして「時間」がとても大きな意味を持っている。効率が我々を豊かにしてくれたのか。もう一つの価値ある社会とは何かを問いかけるものだと思う。ネットワークの役割は違う人たちが繋がること。そのつながりがまた次の繋がりを生み出す。違う者同士は化学反応を起こし、別のものを生み出す。一見つながったように見えないものがどこかでつながってくる。ネットワークそのものが大きな可能性を持っている。

◎ 但馬冬鍋 大好評！200食の鍋はすぐ空に

休憩時間を利用して但馬冬鍋に舌鼓を打ちました。食材は豊岡エコファーマーズのTさん栽培の盛りだくさんの野菜とイノシシとシカのお肉でした。味付けもよく、人気。200食はすぐになくなりました。食について今一度考えていただきたいという思いで企画した但馬冬鍋でした。



コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク協議会 豊岡市土渕133-1 TEL0796-26-1101
<http://www.kounotori-inochinet.com/>